学校番号	109

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	こどものバイエル（上巻／下巻）／音楽の友社　ほか						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幼児教育・初等教育を志す生徒を対象に、音楽の基礎能力・技術を高められるよう学習を行います。
・学習の到達度は、毎時間の課題の進行・習熟状況や実技テストで評価します。
・生活や社会における音楽の意義や在り方に関心をもち、音楽を幅広い視野で捉えて考えてもらいたいと思います。
・みなさんの希望する進路実現が叶うよう、真剣に取り組んでもらいたいと思います。

２ 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	音楽表現の基礎を身に付けよう	【歌唱】 コールユーブンゲン No.1～25 こどものうた	○ ○	○ ○	○ ○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌うことを通して自らの音感を磨き、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
		【器楽】 バイエル(上下)	○	○	○	○	a:楽器の演奏実技の習得に意欲を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:平易な楽曲の中で音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器演奏の基本的な技能を見に付けている。 d:他者や教師の演奏を聴き、演奏の解釈や価値を考え、音楽に対する理解を深めている。	観察 演奏の聴取
2学期	基礎力を確かなものにし、進路実現に向かって進もう	【歌唱】 コールユーブンゲン No.26～35 こどものうた	○ ○	○ ○	○ ○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌うことを通して自らの音感を磨き、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
		【器楽】 バイエル(上下) その他入試課題(ソナチネ、ブルグミュラー等)	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:楽器の演奏実技の習得に意欲を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:平易な楽曲の中で音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器演奏の基本的な技能を見に付けている。 d:他者や教師の演奏を聴き、演奏の解釈や価値を考え、音楽に対する理解を深めている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

3学期	身に付けてきた実力を発揮しよう	【歌唱】 コールユーブンゲン こどものうた	○ ○	○ ○	○ ○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌うことを通して自らの音感を磨き、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
		【器楽】 バイエル(上下) その他入試課題(ソナチネ、ブルグミュラー等)	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:楽器の演奏実技の習得に意欲を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:平易な楽曲の中で音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:楽器演奏の基本的な技能を見に付けている。 d:他者や教師の演奏を聴き、演奏の解釈や価値を考え、音楽に対する理解を深めている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ、ｂ、ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ、ｄの２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている